

北見赤十字病院 認知症疾患医療センター 市民公開講座 開催報告

日時：令和 6 年 11 月 9 日（土）14：00 ～15：30

会場：北見赤十字病院 北館 多目的ホール「ミント」

内容：『軽度認知障害（MCI）と最新の認知症治療について』



令和 6 年 11 月 9 日（土）に市民公開講座を当院にて開催いたしました。当日は 206 名の市民・関係者の皆様にご来場いただきました。ありがとうございました。以下、内容を報告いたします。



座長

北見赤十字病院
特別顧問 吉田 茂夫 氏

講師

北見赤十字病院
神経精神科医師 古俣 皓涼 氏

講師の古俣医師より軽度認知障害、最新の認知症治療についてわかりやすく講話をしていただきました。軽度認知障害とは物忘れなどの認知機能の低下を感じる一方、日常生活に支障がない状態で、65 歳以上の 7 人に 1 人が罹患しているという説明がありました。アルツハイマー型認知症の原因物質を除去することで症状の進行を抑制する最新の治療の対象者や治療方法についても説明がありました。また、服薬治療も大切ではあるが、趣味や社会活動も認知症予防には大切であり、ご自分の好きなことや楽しい活動を是非続けていただきたいというお話もありました。自立した生活を送れるように、少しでも不安があれば家族と一緒に受診をしてくださいと呼びかけもあり、ご自身やご家族で困ったときの選択肢の一つとなれば幸いです。

参加者の皆様より質問も多く寄せられ、関心の高さを伺うことができました。アンケートでは「早期受診が重要なことがわかりました」「最新の治療の対象者・内容・効果を聞くことができて大変参考になりました」等の感想をいただきました。また、「認知症と診断を受けた後も地域で生活できている方の実践ケースを聞いてみたい」「認知症当事者への対応の仕方を教えてほしい」等の次回に向けた声もいただきました。来年度も市民・関係者の皆様に向けた認知症に関する市民公開講座を開催予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



（認知症疾患医療センター事務局 垂石記）